

スズユウ便り 8月

令和7年7・8月号

6月27日、観測史上最も早い「梅雨明け」が発表された西日本の各地。
7月18日に関東甲信、北陸、東北南部が梅雨明けをしました。

気象庁の長期予報では2025年の夏は6月から8月にかけての気温は、全国的に高くなると予想されています。そこで、心配なのは熱中症です。熱中症の発生場所で一番多いのが「住居(家の中)」で、全体の4割を占めているそうです。

【熱中症 家の中が多いわけ】

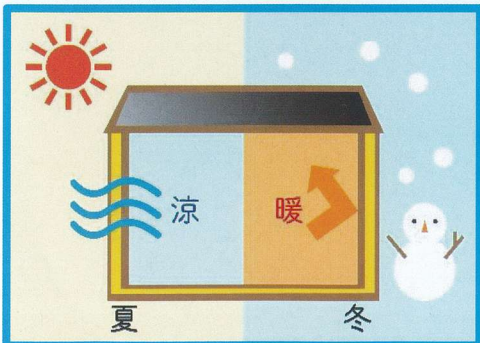
- 日中の暑さや日差しによって室温が上がりやすく、特に風通しの悪い部屋では熱がこもりやすい。
 - 冷房の設定温度を高くしたり、使用を控えたりすると、室温が上がりやすくなる。
 - 台所はコンロの熱などで高温多湿になりやすい等の理由があげられます。特に高齢者や乳幼児、持病のある方などは、熱中症になりやすい傾向があるようです。
 - 寝苦しい夜間はエアコンをつけたままにして、水分補給をこまめにとるようにしましょう。
- 熱中症対策をして暑い夏を乗り越えてください。



断熱リフォームで快適な生活をしましょう

断熱リフォームとは…

建物の床・壁・天井に断熱材を入れて断熱性を高めることです。断熱というと暖房の熱を外に逃さないようにするなど、何となく冬のイメージがありますが、夏も断熱材を入れることで室温が外気温の影響を受けにくくなります。



断熱材リフォームにより様々な問題やお悩みが解決できますので是非ご相談ください。

1. 冷暖房費を節約したい
2. 冷暖房の効が悪い
3. 窓の結露防止
4. 押し入れなどに生えるカビ防止
5. 暖房をつけても足元が冷たいなど…

(有)スズユウ工務店
 千葉市若葉区大宮町2841-1
 TEL 043(233)6090
 フリーダイヤル 0120-438-435
<http://www.suzuyu.net/>



断熱リフォームには大きく分けて2つの方法があります。

- 1つは「外断熱工法」もう一つは「内断熱工法」
- ① 外断熱工法は、外側に断熱材を施工する方法です。メリットは、建物の外側から工事ができて建物の内部ではいつもの日常が送れる事です。デメリットは断熱材に厚みがあるので外側に多少出てしまうことです。また、足場が必要となります。
 - ② 内断熱工法は、室内の工事のため足場の必要がないのでその分費用を抑える事ができます。壁の空間に断熱材を入れる事ができるので外壁の外側に出ることはありません。デメリットは、室内の作業のため生活に支障がでます。断熱リフォームができる場所は、壁面・床面・天井面・窓・玄関等の開口部。床面は直接触れる部分でもあるので断熱材を入れることで夏は涼しく冬は暖くなる効果があります。



外断熱工法



内断熱工法

お気軽にご相談ください。



編集後記

11年ぶりに開催された竹内まりやさんのライブツアー。これがなかなか当たらないプラチナチケットなんです。今回の抽選で主人が当たり6月24日「K-Arena 横浜」に行ってきました。まりやさんのライブは以前から行ってみたいと言っていた主人。しかも、11年ぶりのライブということもあり応募してくれました。初めて当たった席はアリーナ席の25列目、なかなか良い席でした。まりやさんは70歳、ご主人の山下達郎さんは72歳。お二人の歌唱力は全く変わってなく、特にデュエット曲(All Have To Is Dream)は鳥肌が立ち感動しました。ライブのDVDが発売されたら購入し、再度、楽しみたいと思います。皆様も好きなアーティストのライブや映画などに行列、暑い夏を楽しみながら乗り越えてください。(ひ)

